海外派遣留学プログラム「帰国報告書」

記入日	2024年6月20日
所属学部・研究科・学府	工学部
所属学科・専攻	総合工学科・デザインコース
留学時の学年	学部4年

1．留学先について

留学先大学名		ヨークセントジョン大学							
留学先所属学部等		Study Abroad/Exchnage							
留学期間	出発日	2023/9/15	入学日	2023/9/18	修了日	2024/6/7	帰国日	2024/6/10	
住居	✔	大学(紹介）の寮・アパート		民間アパート		その他（ ）			
	住居の決め方	基本的に留学先大学の案内に従って決めました。大学寮の入居意思の有無→1件部屋を提示される→当該物件で良いか判断する、という流れでした。							
	通学時間	徒歩で20分、自転車で15分		On campus					
	通学方法	自転車							
	居室スペース ✔を入れてください	✔	個室		（ ）人部屋		その他 （ ）		
	共有スペース ✔を入れてください		完全個室	✔	キッチン	✔	トイレ	✔	バス		リビング		その他( )
食事	自炊 95 %	学食 1 %	外食 4 %	その他 % （ ）					
保険	海外旅行保険（名称・加入プラン名）	留学生トータルサポートプログラム (Hプラン)							
	留学先国・大学指定保険（名称・加入内容）	-		加入必須					
	その他加入保険	-							
渡航ルート	ex.） 成田⇔シカゴ（飛行機）⇔ウィスコンシン（電車）								
	羽田 ⇔ マンチェスター(飛行機) ⇔ ヨーク(大学送迎バス)								

2．留学資金の内訳 ＊✔を入れて、金額を記入してください。

自費	✔	貯金 60万 円		アルバイト 円		その他 円
援助	✔	親 170万 円	✔	家族・親戚 円		その他 円
奨学金		JASSO 円		その他名称（ ）		円
その他		（ ）				円

3．留学にかかった費用

総費用	約 230万	円

3-1．留学にかかった費用：内訳 ＊外貨で払ったものについては日本円に換算したおおよその金額も記入してください。

費目	外貨金額 通貨単位	£1=¥190	円貨金額	
渡航費(往復)	£	445	¥200,000+£85,000=¥285,000	円
JTBトータルサポートプログラム（海外旅行保険・危機管理サービス）	£	0	¥145,070	円
その他の保険料	£	0	0	円
査証・在留許可証	£	0	¥158,000	円

住居	£	4,110	¥37,500+£4,110=¥780,000	円
光熱費	£	0	0	円
通信費（Wi-Fi、SIMカードなど）	£	45	¥8,550	円
食費	£	880	¥168,000	円
通学に要する交通費	£	0	0	円
教科書，教材費	£	0	0	円
その他大学に支払った経費	£	0	0	円
その他　（　　日常生活　　）	£	1,510	¥287,000	円
その他　（　　ギフト　　）	£	395	¥23,000+£395=¥98,000	円
その他　（　　旅行　　）	£	1,750	¥333,000	円

3-2．各費用の支払い方法

＊留学中に利用した方法をご記入ください。（全額クレジットカードで支払った等）

大学に払った費用	-
住居にかかった費用	大学HP上で、現地の銀行口座からデビットカード決済
その他	現地の銀行口座からデビットカード決済

3-3．お金の管理方法

＊渡航時にどのように資金を持参したかご記入ください。

渡航時	✔	現金　50,000 円				その他　（　　）　円	
留学中	✔	海外送金	✔	キャッシング		その他　（　　）	
現地での口座開設	✔	開設した	用意した書類や気を付けること等	留学生でも簡単に口座を開設できるLlyods銀行を選びました。(大学で学生の立場を保証する証明書をもらう→身分証明書と合わせてネットで申請→キャッシングカードが郵送で届く			開設しなかった

4．学業面

4-1．履修科目一覧

履修科目名	種類 ex.正規/聴講	単位数	単位互換			
1　Practising Responsible Business Behaviours	正規	20		有	✔	無
2　Creative Coding for Marketers	正規	20		有	✔	無
3　Security Systems and Products	正規	20		有	✔	無
4　Creating Effective Information Systems	正規	20		有	✔	無
5　Global and Cross Cultural Marketing	正規	20		有	✔	無
6　Artificial Intelligence	正規	20		有	✔	無
7				有		無

4-2．授業科目の選択，登録方法

＊登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など，具体的に説明してください。

(留学生向けの手順です)
1ヶ月ほど前に授業リストが載ったエクセルファイルがメールで届きます。第6希望まで選択し、授業開始2週間ほど前にタイムテーブル上で実際に取ることになる授業が分かります。留学生であっても取れる選択肢の幅は広く、10種類×10分野程度の授業の中から希望の授業を選択する事ができました。取ろうと思えば3年次
(向こうでは最終年次です)向けの授業を取ることもできます。

4 - 3．授業内容，方法に関して

ビジネス・ITの分野で授業を取っていて、内容は様々でしたが、共通して言えることとして、授業の前半でレクチャー、後半でセミナーの形式を取っている授業が多かったです。それから最終課題がタームの初めに提示され、それに向けて毎週の講義が進んでいく、というのも大きな特徴でした。小さめの課題はほとんどありません。
その日のうちに授業内容を定着させやすく、最終課題に向けて計画を立てやすいので、主体性を持って着実に学びたい人には合っていると思います (自分もこのスタイルがマッチしていました)。

4 - 4．語学力について

ターム初めは専門用語の理解に苦しみました。できる限り渡航前に関連分野の英単語を予習しておくとスムーズに慣れると思います。一方で職業柄でしょうか？先生の英語自体ははっきりしていて、とても聞き取りやすいです。学生や街に出ると訛りが強い英語に遭遇することも多々あるので、この面には救われました。Writingに関しては渡航当時はまだまだ苦手意識がありましたが、繰り返し論文を読んだり普段の授業の復習をしていたので、留学後半
(4~5ヶ月目)は自然と単語が出てくるようになりました。

4 - 5．図書館など学内施設について

イギリスは古い建物が多いというイメージを抱きがちですが、ヨークセントジョン大学は外見・内装ともに比較的新しい状態でした。敷地内にはそれぞれの学科の講義室・図書館・学食・総合窓口があり、千葉大学より敷地面積は狭いです。図書館にはデスクトップPCが沢山あり、ラップトップの貸し出しも行っていたりと、学習環境はとても充実しているように思えました。

5．生活面　＊気づいたこと，心掛けたことなどをご記入ください。

5 - 1．住居について

2階建ての学生寮に5人住まいでした。内装は個室が5つと、キッチンが1階に、シャワールーム・トイレが1階と2階にそれぞれあります。それから一つの区画に同じ寮が30近くあります。たまに別の友人の寮に遊びに行って一緒に料理をしたこともありました。

5 - 2．食生活について

日本よりも食べ物のレパートリーが少ないです。既製品は揚げ物・パンなどが多く、毎日食べていると飽きてしまうので、自炊をする事が多かったです。イギリスでもアジア料理や和食は一定の知名度があるらしく、スーパーで醤油やパン粉を手に入れる事ができました。

5 - 3．インターネット環境，携帯電話について

寮や大学だけでなく、駅などの公共機関にも無料で使えるWiFiが多かったです。セキュリティ面のことを考えて、VPN接続ができるサービスに加入しておくと良いと思います。電話回線は日本のだと利用料金が高くなるので、現地のSIMカードを購入し、そちらを使っていました。通信キャリアのお店に出向く必要はなく、スーパーに売っているSIMカードを刺すのと、ネットで支払い方法を登録するだけで登録は完了します。

5 - 4．服装について

9月に渡航しましたが、既に肌寒く、長袖でちょうど良い温度感でした。冬は0~5℃くらいの寒さににになるので、厚めのコートがあると便利だと思います。イギリスの夏は短く、6~8月にならないと中々半袖にするのは難しいです。余談ですが、日本よりも服装への関心が薄いのか、肌寒くても薄手の服を着ている人も見受けられました。

5 - 5．健康管理について

日照時間が短く、ビタミンDが不足しがちなので、キノコ類を取るようにしていました。それから自分は特に問題なかったのですが、水道の水が硬水なので、人によってはお腹を壊したりする事があるようです。スーパーで軟水のボトルを買う事ができるので、そちらを飲むと良いでしょう。

5 - 6．保険，危機管理サービスの利用について　＊利用実績等をご記入ください。

大きなトラブルはなく、利用することはありませんでした。

5-7．課外活動について

大学が始まって初期の頃に演奏系サークルに加入しましたが、英語をまだスムーズに使うことができず、馴染めなかったので辞めてしまいました。

5-8．学外のコミュニティとの交流について

留学後半では住んでいる街のことをよく理解してきたので、大学の募集案内を通して街の観光案内所でボランティアとして働いていました。街に長年住んでいる正規のガイドさんレベルには届きませんでしたが、英語を使って幾らか案内ができました。自分の住んでいる街がどんな場所かを客観的に知る事ができて、いい経験になりました。

5-9．日本から持参してよかったもの

モバイルバッテリー、ショルダーバック（旅行に便利です)、真空圧縮バック（厚手の服を詰められる）

5-１０．日本から持参したが不要だったもの

デジタルカメラ（スマホのカメラで十分でした)

5-１１．現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い，マナーなど)

家族を大切にしている人が多い、日曜日やクリスマス休暇はお店が閉まる
ThanksやExcuse meなどの言葉を積極的に口にする、後ろの人のために開けたドアを押さえておく。

５－１２．余暇の過ごし方

旅行

湖水地方への旅行　期間：2023年10月20日~21日（一泊二日）　費用：160ポンド（日本円で約3万円）　内容：景色を見る、English Breakfastを食べる
オックスフォードへの旅行　期間：2023年12月8日~10日（二泊三日）　費用：300ポンド（日本円で約6万円）　内容：街の観光
ロンドンへの旅行　期間：2023年12月30日~2024年1月2日（三泊四日）　費用：480ポンド（日本円で約9万円）　内容：街の観光
家族旅行　期間：2024年2月21日~22日, 24~26日（二泊五日）　費用：180ポンド（日本円で約3万円）　内容：ヨークを案内、ロンドン観光、パリ観光
日本の友人と旅行　期間：2024年3月23日~4月1日（九泊十日）　費用：500ポンド（日本円で約10万円）　内容：Oxford, Cotswolds, London観光
リヴァプール観光　期間：2024年6月5日（一日）　費用：40ポンド（日本円で約7千円）　内容：街の観光
帰路の途中観光　期間：2024年6月8日~11日（二泊四日）　費用：140ポンド（日本円で約3万円）　内容：ロンドン観光、帰国

その他　　＊気分転換やストレス発散法など。

家族や日本の友人と電話したり、現地の友人と一緒に料理をしていました。

６．その他

６－１．留学希望者へのアドバイス

他の語学留学や短期留学と比べると、半年や一年間の留学はその国を知るのに十分な期間だと思います。もちろん派遣留学という形なので大学での学業が何よりですが、「学ぶ」ということは何も大学の中だけの話ではありません。コミュニケーションの取り方、価値観、建物、娯楽、etc...　日本とは違うことに遭遇する度に色々と考えさせられます。是非ご自身で新しい発見をなさってください！

６－２．留学を終えて

＊海外派遣留学プログラムについて，今後の目標，進路，自信がついたこと，不安に思うことなど，自由に記述してください。

今回イギリスに留学して、外国人の自分に対して現地の人が気にかけてくれることもありました。もちろん外国人に関心が無い人も多いので、そういう気遣いがありがたかったです。私は10月から日本のIT企業に勤めることになっています。そのIT企業では英語を使って外国の人とのコミュニケーションをとる機会もあるようです。留学の経験を活かして、外国人の視点でそういった人たちのサポートができたらな、と思っています。